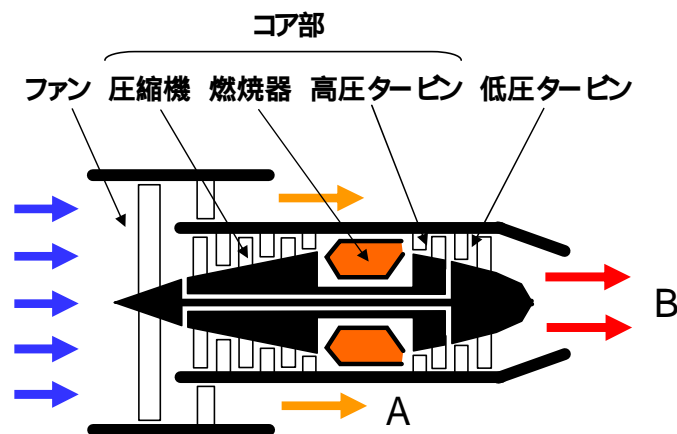


参 考 資 料

- 別紙 1 ターボファンエンジンの概要
- 別紙 2 本研究の流れ
- 別紙 3 高バイパス比ファンエンジンの概要
- 別紙 4 「研究開発の実施の実施に関わるガイドライン」抄

用語解説



コア部

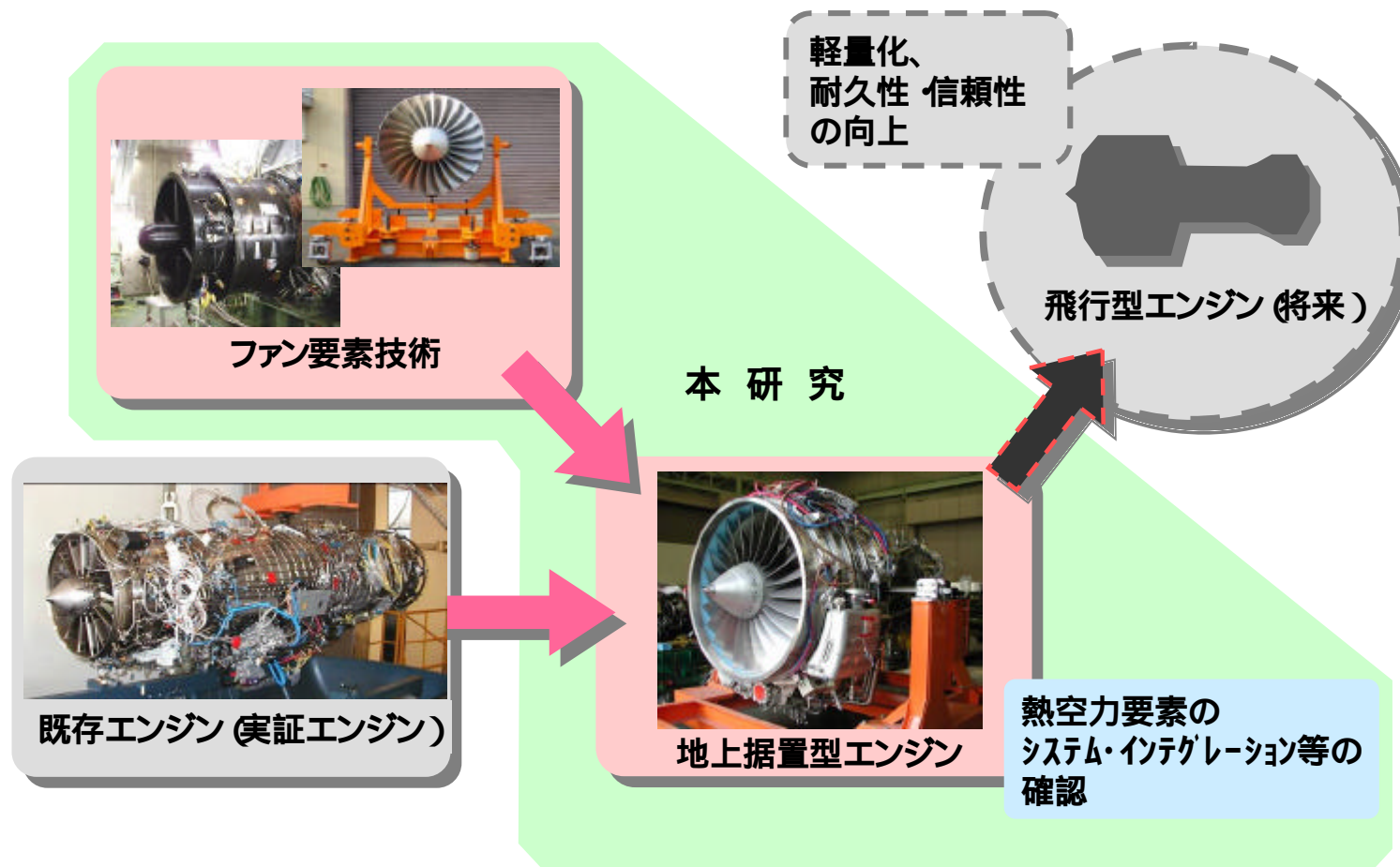
エンジンの構成要素のうち、圧縮機、燃焼器、高圧タービン

バイパス比

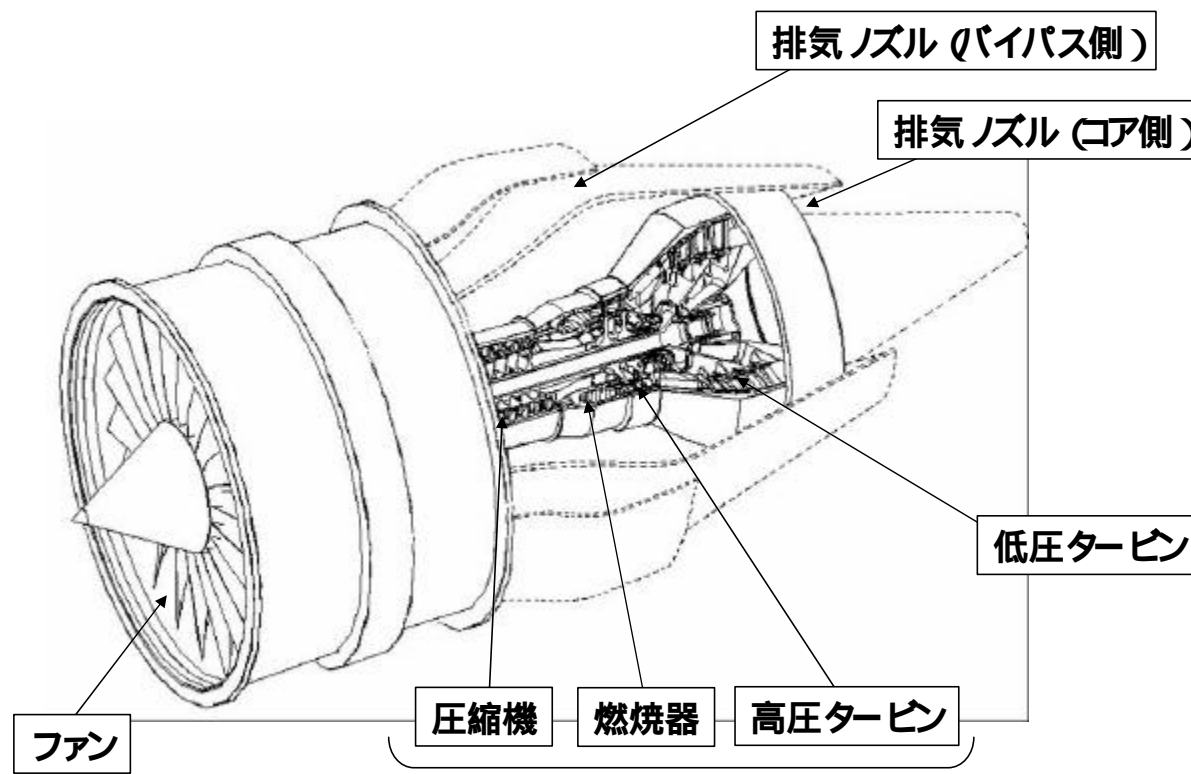
ファンで圧縮された後、エンジン内部をバイパスして外に出て行く空気（上図A）が、エンジン内部を通過して燃焼に使われた後に排気ノズルから外に出て行く空気（上図B）の何倍の質量になるかを表す比。一般に、バイパス比が大きいほど燃料消費率が良くなる。

$$\text{バイパス比} = \frac{\text{Aの空気の質量}}{\text{Bの空気の質量}}$$

本研究の流れ



高バイパス比ファンエンジンの概要



コア部 既存エンジン (実証エンジン) とほぼ共通

研究開発の実施に関わるガイドライン」(13.6)より抜粋

当面、特に重点的に取り組むべき技術分野とその考え方は次のとおり。

将来戦闘力発揮を飛躍的に向上させ防衛の成否に大きな影響を与えるなど軍事技術としてその重要性が極めて高くなると考えられる分野

情報通信技術分野、無人機技術分野、誘導関連技術分野

より戦略的な取り組みが必要な主要装備品等の中核技術であり、また、諸外国からの技術導入が期待されない分野

航空機用エンジン技術・アビオニクス技術分野

上記技術分野は、装備品等のプラットフォーム、情報 指揮通信等の機能であり、各種装備品等の能力発揮を最終的に担保する搭載武器を含めた火器、弾薬関連技術と融合して、最大の効用をもたらすものであって、これらの継続的な取り組み努力が必要である。